

科目名	英語の歴史A
科目名(英訳)	History of English A
科目ナンバー	HF332C03
担当者 (非)は非常勤講師	柳 朋宏
単位数	2
開講学年	2年
開講セメスター	春期毎週
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	【春学期】 柳 朋宏: 月7-8
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	英語英米文化学科の専門は、「言語系」と「教育系」と「文化系」とに分かれます。本授業は「言語系」に属します。また、「言語系」の授業は言語を時間軸上の一点で共時的にとらえようとする授業と、言語を時間軸に沿って通時的にとらえようとする授業とに分かれますが、本授業は後者に属します。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:◎ ③:○ ④:○
身につく基礎力 / 身につく汎用力	調査・情報収集力 / クリティカル思考力 / 豊かな教養 / 国際的な視野 / 多様性

授業の主旨 (概要)	世界で話されている英語の多様性を、英語の通時的変遷という観点から考察し、各地で用いられている英語変種に対する理解を深める科目である。歴史的視点から「標準語」が幻想であることを知り、国際的な視野から英語の多様性に対する寛容な態度を養う。																																									
具体的 達成目標	この講義を通して、受講生は、さまざまな英語変種における音韻・統語・形態に関する多様性が、英語の歴史的变化と不変化の産物であることが理解できるようになる。また、お互いの異なる英語を尊重し、文化間コミュニケーションの基盤を形成することができる。																																									
授業計画	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">1</td><td>【内容】</td><td>オリエンテーションー英語史の概略</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>【事後】英語の歴史について自分のことばで整理する。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">2</td><td>【内容】</td><td>「標準英語」という幻想</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>【事後】標準英語を決定する基準について整理する。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">3</td><td>【内容】</td><td>英語の変異と多様性</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>【事後】どのような種類の英語が存在し、どのように関連しているかを整理する。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">4</td><td>【内容】</td><td>世界共通語としての英語</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>【事後】世界共通語として必要な条件についてまとめる</td></tr> <tr> <td rowspan="2">5</td><td>【内容】</td><td>英語の世界と世界の英語</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>【事後】さまざまな基準による英語の分類方法について整理する。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">6</td><td>【内容】</td><td>ブリテン諸島の英語変種(1): イングランド北部</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>【事後】イングランド北部方言の特徴について整理する。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">7</td><td>【内容】</td><td>ブリテン諸島の英語変種(2): イングランド中部</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>【事後】イングランド中部方言の特徴について整理する。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">8</td><td>【内容】</td><td>ブリテン諸島の英語変種(3): イングランド南部</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>【事後】イングランド南部方言の特徴について整理する。</td></tr> </table>		1	【内容】	オリエンテーションー英語史の概略	【授業外学習】	【事後】英語の歴史について自分のことばで整理する。	2	【内容】	「標準英語」という幻想	【授業外学習】	【事後】標準英語を決定する基準について整理する。	3	【内容】	英語の変異と多様性	【授業外学習】	【事後】どのような種類の英語が存在し、どのように関連しているかを整理する。	4	【内容】	世界共通語としての英語	【授業外学習】	【事後】世界共通語として必要な条件についてまとめる	5	【内容】	英語の世界と世界の英語	【授業外学習】	【事後】さまざまな基準による英語の分類方法について整理する。	6	【内容】	ブリテン諸島の英語変種(1): イングランド北部	【授業外学習】	【事後】イングランド北部方言の特徴について整理する。	7	【内容】	ブリテン諸島の英語変種(2): イングランド中部	【授業外学習】	【事後】イングランド中部方言の特徴について整理する。	8	【内容】	ブリテン諸島の英語変種(3): イングランド南部	【授業外学習】	【事後】イングランド南部方言の特徴について整理する。
1	【内容】	オリエンテーションー英語史の概略																																								
	【授業外学習】	【事後】英語の歴史について自分のことばで整理する。																																								
2	【内容】	「標準英語」という幻想																																								
	【授業外学習】	【事後】標準英語を決定する基準について整理する。																																								
3	【内容】	英語の変異と多様性																																								
	【授業外学習】	【事後】どのような種類の英語が存在し、どのように関連しているかを整理する。																																								
4	【内容】	世界共通語としての英語																																								
	【授業外学習】	【事後】世界共通語として必要な条件についてまとめる																																								
5	【内容】	英語の世界と世界の英語																																								
	【授業外学習】	【事後】さまざまな基準による英語の分類方法について整理する。																																								
6	【内容】	ブリテン諸島の英語変種(1): イングランド北部																																								
	【授業外学習】	【事後】イングランド北部方言の特徴について整理する。																																								
7	【内容】	ブリテン諸島の英語変種(2): イングランド中部																																								
	【授業外学習】	【事後】イングランド中部方言の特徴について整理する。																																								
8	【内容】	ブリテン諸島の英語変種(3): イングランド南部																																								
	【授業外学習】	【事後】イングランド南部方言の特徴について整理する。																																								

7 英語の歴史A

	9	【内容】	ブリテン諸島の英語変種(4): スコットランド			
		【授業外学習】	【事後】スコッツ語の特徴について整理する。			
	10	【内容】	ブリテン諸島の英語変種(5): ウェールズ			
		【授業外学習】	【事後】ウェールズの英語変種の特徴について整理する。			
	11	【内容】	ブリテン諸島の英語変種(6): アイルランド			
		【授業外学習】	【事後】アイルランドの英語変種の特徴について整理する。			
	12	【内容】	アフリカにおける英語変種			
		【授業外学習】	【事後】アフリカにおける英語変種の特徴について整理する。			
	13	【内容】	ヨーロッパにおける英語変種			
		【授業外学習】	【事後】ヨーロッパにおける英語変種の特徴について整理する。			
	14	【内容】	アジアにおける英語変種			
		【授業外学習】	【事後】アジアにおける英語変種の特徴について整理する。			
15	【内容】	まとめと総括テスト				
	【授業外学習】	【事前】これまでの講義内容について復習し授業に臨む。				
授業方法	配布資料に基づき、スライドと映像を組み合わせ、講義形式で授業を行う。さまざまな英語の聞き取りにも挑戦してもらう。課題などに対するフィードバックは口頭もしくは書面で行う。					
成績の評価方法	小テスト(20%)、課題(35%)、総括テスト(45%)により総合的に評価する。 標準英語変種とさまざまな英語地域変種の実態と両者の関係について、歴史的観点から、自分のことばで説明できるかどうかを評価対象とする。					
成績の評価基準	小テスト、課題、総括テストと授業への取組姿勢・貢献度を加味して総合的に評価し、100点満点に換算した数値が60点以上あれば合格とする。 ただし、理由を問わず、2回連続で欠席した場合もしくは欠席が4回に達した場合は不合格とする。遅刻は授業開始後15分までとし、遅刻2回で欠席1回として扱う。					
教科書	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『使用しない』				
参考文献						